

議 事 録

会 議 名	平成29年度第1回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	平成29年6月28日（水）10時00分～12時00分
開催場所	発達教育センター（第1研修室）
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，松本委員，笠原委員</p> <p><PTA役員> 西方委員，辻委員，鶴田委員，古賀委員，西村委員，木村委員</p> <p><校長会> 時枝委員，廣瀬委員，日高委員，宮崎委員</p> <p><指導主事等> 窪山委員，諏訪原委員，露谷委員，山本委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 藤田委員</p> <p>事務局：中村指導部長，木下学校指導課長，森発達教育センター所長 石橋学校指導課係長，井上学校指導課係長</p>
議 題	<p>○ 諮問委員委嘱及び役員選出</p> <p>○ 福岡市教科用図書採択の説明 等</p>
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 福岡市教科用図書調査研究委員委嘱</p> <p>3 教育委員会挨拶</p> <p>4 委員長・副委員長選出</p> <p>5 諮問</p> <p>6 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）教科用図書採択の概要説明</p> <p style="padding-left: 40px;">○ 教科書（教科用図書）について</p> <p style="padding-left: 40px;">○ 福岡市立義務教育諸学校の教科用図書採択について</p> <p style="padding-left: 40px;">○ 平成30年度使用教科用図書採択方針について</p> <p style="padding-left: 40px;">○ 調査研究の進め方と報告書について</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）質疑</p> <p>7 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等主な協議	<p>〔委員〕 現在，道徳の授業はどのように行われているのか。</p> <p>〔事務局〕 小学校，中学校ともに年間35時間の授業を行っている。子供たちの実態などを踏まえ，いろいろな会社の副読本から，学校で教材を選び学習している。あわせて，福岡市教育委員会委員会作成の人権読本「ぬくもり」や，自作資料なども使って学習している。</p> <p>〔委員〕 中学校の教科書の採択はどうなるのか。</p> <p>〔事務局〕 来年度採択して，平成31年度から教科書を使う。</p>

〔委員〕 特別支援学校の学校教育法附則 9 条に示される本については、一般に市販されている図書を教科書にかえて使うということだと思うが、今日の資料では、それぞれの本の特質が分かりにくい気がする。本の特質が分かるような資料が別にあるのか、それとも本を見て調べることになるのか。

〔事務局〕 資料のリストに上がっている本は、隣の研修室に全て展示しているので、それを見ていただき、基本的には、教科書として不適切な部分がないか、使って問題がないか、ということを判断していただくようになる。

〔委員〕 一般図書を教科書として使いたいという申請は、個々の学校から出されるということか。

〔事務局〕 そうなっている。

〔委員〕 各学校の申請理由を、委員は目にはできるか。学校が、こういう理由で使いたいと言っていることを踏まえ、調べていく必要があると思うのだが。

〔事務局〕 児童生徒の一人一人の実態を踏まえ、その教科書がその児童にふさわしいかどうかというマッチングをしていかないといけないのだが、膨大な数になるので、学校が教科書として使いたい本が、教科書として不適切な表現がないか、人権的な課題がないかという点で見ていただくことになる。

〔委員〕 専門的な観点からもうすでに選定がなされていて、そこには新しい観点から確認するという作業を行うことで理解してよろしいか。

〔事務局〕 その通りである。

〔委員〕 道徳には徳目というものがあつたと思うが、そういうところが、教科書に反映されているかどうかを、この調査研究委員会で行っていくのか。

〔事務局〕 道徳には内容項目というのがあり、それを含めて採択方針の観点に示している。実際には、内容項目から見のではなく、採択方針にある、共通の観点と道徳科の観点で調査をしていく。

〔委員〕 道徳の関係でいくと、資料 9 ページ右の方に調査会評価、調査研究委員会の評価の欄があり、それぞれの観点で評価していくということでは理解しているが、一般図書については、調査会の欄しかない。調査研究委員会委員会の評価については、どのように扱われるのか。

〔事務局〕 本会議の評価及び評価の理由について記載できるような報告書

を作っていく。

〔委員〕先程、道徳は小学校で35時間学習すると説明があったが、どの教科書も35時間に対応できるようになっているか。

〔事務局〕35時間に対応できるつくりとなっている。

〔委員〕私は保護者代表なのだが、観点の中の「授業に照らして適切に配分されていること」という判断基準がなかなか難しい。

別に資料などがあればありがたい

〔事務局〕教科書の採択方法については説明をさせていただいたが、道徳の学習がどう変わるのかなどについては、説明が不足していたので、何らかの形で資料をお示ししたいと思っている。

〔委員〕自分たちが受けた道徳の授業を、あまり覚えていないという話を委員同士でしていた。今回、学校教育法が改正され、35時間きちんと道徳を勉強するという、取組姿勢を見せていることは大事なことだと思う。

どの教科書を選んだら、福岡の児童生徒がよりよく力をつけて立派に育っていくかということを考えたときに、学ぶ内容については文部科学省が35時間示しているので、どのように学んでいくのか、学び方ということも含めて、調査研究していくことが必要ではないかと思う。

一方、教材なんて何でもよいという考え方もある。どんな立派な教材を与えても学び方が悪ければ生かされない。いろんな視点から委員の知恵を絞って、どの教材でどういう勉強をしたらいいのかということも含めて、考えていくとよいのではないかと思う。

〔委員〕素朴な疑問だが、自分の子どもの小学校で約2%ぐらいが外国籍の子どもであり、両親とも日本語があまり話せないという方もいる。外国籍の子どもへの対応などはどうなっているのだろうか。

〔事務局〕内容項目の中に国際理解国際親善という項目がある。多様な文化の理解など、どの教科書にも教材が入っている。

〔委員〕大事なことは道徳心をどれだけきちんと身に付けさせるかということだと思う。教科化になる事で先生方の意気込みが高まっていくことが楽しみだと思っている。特別支援学校や特別支

援学級の教科書が、どのように選ばれていくのか分かりにくいところがあるので、次回、観点などを整理して説明していただきたい。

〔委員〕 一般図書について、以前とあまり変わってない本がたくさんあるので、新たに開拓していく場面も必要ではないかと思う。

〔委員〕 確認だが、教育委員会から諮問をいただいたが、道徳は調査研究、一般図書は選定するという事になっている。この違いは何か。また、調査研究委員会の答申をもとに、教育委員会会議で採択されると思うが、具体的にどのように審議がなされるのかお聞きしたい。

〔事務局〕 道徳の場合は、採択方針のすべての観点に基づき調査研究を行い、調査研究委員会としての評価を行うが、一般図書は、調査会で選定した図書が適切かどうか判断していただくという内容に違いがあり、道徳は「調査研究」、一般図書は「選定」という表現にしている。

また、教育委員会は、教育長及び教育委員6名で構成されており、この会の調査研究委員会の評価・意見を全て報告することになる。各学校の意見、市民の意見についても、同時に教育委員会に報告し、総合的に判断して、教育委員会会議で採択を行っていく。

議 事 録

会 議 名	平成29年度第2回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	平成29年7月12日（水）9時30分～11時30分
開催場所	福岡市教育センター
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，徳永委員</p> <p><PTA役員> 鶴田委員，古賀委員，西村委員，木村委員</p> <p><校長会> 時枝委員，廣瀬委員，宮崎委員</p> <p><指導主事等> 蒔谷委員，山本委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 藤田委員</p> <p>事務局：中村指導部長，木下学校指導課長 井上学校指導課係長，糸山学校指導課主任指導主事</p>
議 題	<p>○ 道徳科及び一般図書の調査・審議</p> <p>1 開会のことば</p> <p>2 教育委員会挨拶</p> <p>3 基礎資料説明</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科について</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科の基礎資料について</p> <p style="padding-left: 20px;">○一般図書の基礎資料について</p> <p>4 調査</p> <p>5 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科について</p> <p>6 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等主な協議	<p><道徳科について></p> <p>◇各教科共通の観点</p> <p>〔委員〕共通の観点の内容に関するのだが，アのところに，「川で遊ぶ場面」が描かれているということがあった。理由として，福岡市では川で遊ぶことを禁止しているということだが，私が小さい頃には，川でばかりで遊んでいたと思う。そのことについて，適切でないということだが，いつごろからそういうことが始まったのか，分かったら教えてほしい。</p> <p>〔事務局〕福岡市は川が多く，実際昨年度についても3件悲しい事故があった。命に関わるため，通知文等も出し，川で遊ばない指導を徹底させている。</p> <p>〔委員〕合わせて，安全面の観点で一輪車の件についても記載があるが，このことについて，調査会ではどのような話になっていたか。</p> <p>〔事務局〕一輪車の件について，特に禁止しているということではないが，</p>

自転車についても、例えば交通安全教室を経て4年生から路上で乗るような指導していることもある。それに伴って一輪車で遊ぶのはどうだろうかということが、調査会では出されていた。

〔委員〕危険な場面で一輪車遊びをしているのだろうか。小学校では、学校で一輪車で遊んでいるのではないかと思うのだが。道路で遊ぶことが書いてあるならいけないと思うが。

〔事務局〕一輪車自体は禁止されているわけではないが、学習として位置付けられてないことから、適切でないのではないかという調査会の判断になった。

〔委員〕学習で位置付けられてないけれども、遊ぶことはある。例えば鬼ごっこが位置付けられてないからだめだというわけではない。

〔事務局〕調査会でそういう判断したが、調査研究委員会の審議の結果、評価が変わるということによいと思う。

※一輪車の件については、次回改めて審議。

〔委員〕川の話にもどるが、ビニール袋やゴミが川にいっぱい捨ててあり、それを拾っているという内容になっており、これだけで適切でないという判断してよいのかと思う。

〔委員〕川で遊ぶ遊んでいるわけではないけれども、川でゴミ拾いをしている、それに伴う危険性が付随してくるということはある。調査会に再調査をお願いしたい。

※調査会で再調査

〔委員〕各教科共通の「分量」の観点について、教える内容を絞ることができない、児童生徒が考える時間が裂かれてしまうという点から、分量の多さは気になる。調査会の評価の通りでいいと思う。

〔委員〕分量が多いかどうかの、何か分岐点みたいなものがあるのか。それとも、感覚的なものなのか。

〔事務局〕単純に何ページ以上になると分量が多いということではなく、発達段階を考えてこのくらいの分量だったらよい。ということや、この教材では、議論を重視したいので教材文の量はできるだけ少ないほうがよいなどと、調査会で個別に判断したと考えている。

〔委員〕分量の問題については、単純に量的に多いとか少ないとかいうことは難しい。道徳は自分で考えていくこと必要があり、教材の中に判断する材料が含まれていることが大切である。道徳的な判断に導くための必要な情報が網羅されている結果、相当の

分量になることもある。調査会での再調査をお願いする。

※調査会で再調査

〔委員〕キャラクターには、どういう意味があるのか。

〔事務局〕例えば、各教材の最後に「考えて見よう」という形でキャラクターが出てきている。これが多すぎると、教材文中の登場人物と混同し、児童が混乱するのはないかと調査会で判断している。

〔委員〕例えば2年生の10ページを見てみると、この右側の物語の挿絵とキャラクターがかぶってしまうということなのだろうが、そうは見えない。指導する時に、登場人物がだれかということが確認できれば、分かりづらいということはないのではないか。

〔委員〕「あなたはどうか考えるのか」と、キャラクターを通さず直接聞いた方が、子どもに分かりやすいではないかと思う。だから、キャラクターはなくてもいいのではないか。

※調査会で再調査

〔委員〕別冊の2冊を広げて学習するのが難しいということが出ていたが、ノートがある方が、これはこれで使いやすいような気がした。別冊がなければ、学校でプリントを作成することになるかと思うが、どちらがいいのだろうか。

〔事務局〕このことは、調査会でもかなり話題になった。子どもの机の幅を考えたときに、教科書を置いてその横にノート広げてといのは難しいのではないかという判断だった。

また、道徳の学習ではノートとしてプリントを用意するが、別冊のノートがあると、必ずそれを使わなければならないという縛りが出て、授業の内容が限定されてしまうのではないかという意見もあった。

是非、調査研究委員会の中で、議論していただきたい。

〔委員〕机に2冊広げることが難しいというのは、あまり理由にはならないと思う。

〔委員〕ノートがあると、授業の中で画一的な発問になることが予想される。ただ、学校によっては、こういうノートがあった方がいいと思う学校もあるかもしれないので、なかなか判断が難しい。

〔委員〕先生方に質問で、道徳の授業の時には、教科書を使って読ませ自分の考えをノートに書かせるということになるのか。「これを書いておきなさい。」と先生に言われたことを書き写すためのノートではないのですよね。

〔委員〕道徳には絶対的な答えがないので、子どもたちが、自分で考え

ていくことが大事。そのことについて、自分はどう思うかということを書き写すというのはいくぶん必要がある。先生が言ったことをそのまま書き写すというのはいくぶんよくない。

[委員] これまでの道徳の授業では、登場人物の心情理解のような中途半端な読み取りをしたり、教師が期待する答えを想像して発言したりするなどの点に課題があるとされている。

道徳では、問題が起きたときにはこういうふうに対応するということを学ぶことが大切であるが、それを学ぶための内容を教材に盛り込むには限界があり、全体の分量的にもノート類はない方がよい。

[委員] 調査研究委員会では、先生方が発展的に授業を展開していくためには、別冊がある教科書は難しいのではないかという意見にまとめられると思うがどうか。

※異議なし

[委員] 道徳の観点の8番目については、いじめ問題への対応を中心に評価されているが、命の大切さという点も重視してほしい。このことはすべてにつながっていて、どの人も地球上で大切であるという観点で書いてある教科書がよいと思う。

※調査会で再調査

[委員] 体験的な学習につながらないという点から、△の評価がついている教科書があるが本当にそうだろうか。

※調査会で再調査

[委員] いじめ問題に関する評価で、所見にマイナスのコメントがあるのに、◎になっているところがあるが、どういう意味か。

[事務局] いじめ問題について特設して取り上げている点から◎と評価したが、それを取り上げたコラムだけを教えると学級活動に近い学習になってしまう。指導における配慮が必要なため、所見欄にその旨を記載した。

[委員] 少し、評価が曖昧なのではないか。評価に応じた所見の示し方にした方がよい。

※調査会で確認

議 事 録

会 議 名	平成29年度第3回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	平成29年7月12日（水）12時30分～15時30分
開催場所	福岡市教育センター
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，松本委員，中山委員</p> <p><PTA役員> 西方委員，辻委員，鶴田委員，古賀委員，西村委員，木村委員</p> <p><校長会> 時枝委員，廣瀬委員，日高委員，宮崎委員</p> <p><指導主事等> 窪山委員，諏訪原委員，露谷委員，山本委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 藤田委員</p> <p>事務局：中村指導部長，木下学校指導課長，森発達教育センター所長 石橋学校指導課係長，井上学校指導課係長</p>
議 題	○ 道徳科及び一般図書の審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 教育委員会挨拶</p> <p>3 基礎資料説明</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科について</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科の基礎資料につちえ</p> <p style="padding-left: 20px;">○一般図書の基礎資料について</p> <p>4 調査</p> <p>5 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○道徳科について</p> <p>6 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p><道徳科について></p> <p>☆第2回調査研究委員会の議論を踏まえ，各観点について評価の確認</p> <p>◇各教科共通の観点</p> <p style="padding-left: 20px;">2ア 調査会の評価に異議なし</p> <p style="padding-left: 20px;">2ウ 調査会の評価に異議なし</p> <p style="padding-left: 20px;">2オ 調査会で再調査</p> <p style="padding-left: 20px;">3ア 調査会で再調査</p> <p style="padding-left: 20px;">5ア 調査会で再調査</p> <p>◇道徳科の観点</p> <p style="padding-left: 20px;">2 調査会の評価に意義なし</p> <p style="padding-left: 20px;">5 調査会で再調査</p> <p style="padding-left: 20px;">7 調査会で再調査</p> <p style="padding-left: 20px;">8 調査会で再調査</p>

〔委員〕 共通の観点2ウについて、防災教育の内容が触れられているところも言っておきたい。

〔委員〕 キャラクターについて、教材文の下の脚注にあたる部分にキャプション的に使用している教科書がある。一見助けになりそうではあるが、本来教師が発問として学習活動として組織するところであるため、邪魔になるのではないか。問題解決的な学習を行う点から考えるとどうかと思う。

〔委員〕 道徳の7の観点について、人権や平和との関連が示されていないという評価があったが、本当にそうなのか。道徳の教科書である以上、そういうことはないのではないかと。

<一般図書について>

〔委員〕 算数と理科で選定されている図書の内、適切でない理由として「情報が多い」「内容が難しい」ということが挙げられているものがある。中には、もう少し深く学びたいという児童もいると思うので、これだけの理由で不適切ということはどうかと思う。

〔委員〕 算数の時間など、もっと出来るのではないかと思うことがある。量が多いからという理由だけで適切でない判断するのはどうかと思う。

〔事務局〕 少々難しい問題について学習ができる場合は、検定教科書を使うことになる。検定教科書を使用することが難しい段階の児童には、情報量が多く、内容がわかりにくいということである。

〔委員〕 知的障がいの子どもの教科書は、どういうものがあるのだろうか。くらしそのものが様々な学びにつながっていくこともあるし、幼稚園教育ではないが、これは国語だ、これは社会科だと分けられないのではないかと。場合によっては、絵本を読みながら自動車や文字が学ぶ方が、子どもにぴったり合うという場合もあるのではないだろうか。

〔事務局〕 教科書として給与されるものであるため、手続きとして教科の種目ごとに選定していく必要がある。

調査会では、その本の内容が、教科書としてふさわしいかどうか議論が行われた。例えば、単純に自動車が載っているだけでは、社会科の内容になっていないのではないかなどの議論が行われた。

当然、実際の学習では、教科領域を合わせた形で指導を行うこともある。

〔委員〕基本的には、検定教科書と文部省の著作教科書では対応できない場合に、一般図書を使うということになっていると思う。音楽で選定された中で、低学年から高学年まで幅広くまとめたものがあり、写真もたくさんあってよいと思うが、児童一人一人が検定教科書ではなく、一般図書がよいということを確認しておく必要があるのではないか。

〔事務局〕特別支援学級の学級経営の状況として、複数の学年が一緒に音楽の授業する場合がある。検定教科書であるとそれぞれの学年で内容が分かれているので、指導しづらいところがある。

〔事務局〕本日欠席の委員から、社会で選定した本の中で、地図に書きこんだり、文章の穴埋め問題に書きこんだりする内容が多く、教科書ではなく、副教材にあたるのではないかという意見をいただいている。この本について調査会では、社会科の内容を全て網羅していたので適切であるという判断をしている。

〔委員〕確かに、ドリル式のような感じはする。
※意見が分かれているので、調査会で再調査

〔委員〕家庭科で選定された本で、包丁をもったイラストが少し、つじつまが合わないような気がする。家庭科として適切だろうかと思う。

〔事務局〕そのことについては、調査会で議論されていない。
※調査会で再調査

〔委員〕理科であれば不適切だが、図工では適切であるという本もある。是非、図工で使ってもらいたい。

〔委員〕昨年度、図工で採択された本であり、今年度も採択される見通しである。

議 事 録

会 議 名	平成29年度第4回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	平成29年7月18日（火）10時00分～12時00分
開催場所	発達教育センター（第1研修室）
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 森委員，松本委員，笠原委員，徳永委員</p> <p><PTA役員> 西方委員，辻委員，古賀委員，西村委員 木村委員</p> <p><校長会> 時枝委員，廣瀬委員，日高委員</p> <p><指導主事等> 窪山委員，諏訪原委員，露谷委員，山本委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 藤田委員</p> <p>事務局：中村指導部長，木下学校指導課長，森発達教育センター所長 石橋学校指導課係長，井上学校指導課係長</p>
議 題	<p>○ 道徳科及び一般図書の審議</p> <p>○ 審議のまとめ 等</p>
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 教育委員会挨拶</p> <p>3 説明 ○再調査結果について</p> <p>4 審議① ○道徳科について</p> <p>5 審議② ○一般図書について</p> <p>6 審議のまとめ</p> <p>7 閉会のことば</p>
主な質疑・協 議結果等	<p><道徳科について></p> <p>◇各教科共通の観点 内容に関する配慮2オ</p> <p>〔委員〕一輪車になじみのないという理由で，評価を△にするのはどうか。この理由付けでは通らないのではないか。</p> <p>〔委員〕なじみがなくても，自分ごととして置き換えて考えることが大切である。</p> <p>※△の評価を○に修正</p> <p>◇各教科共通の観点 3分量</p> <p>〔委員〕一般的に道徳の資料には，情報量が少なく状況が分からないものが多いという批判もある。考え議論するところが一番のポイントになってくるので，どんな教材の内容にするべきかを踏まえ，適切な分量をどうするべきか考える必要がある。福岡市で，考え議論する道徳の授業が進めば，どんな教材がよいかということも見えてくると思うので，今後の課題として述べさせてい</p>

ただく。
※調査会の評価どおり

◇各教科共通の観点 5印刷製本（キャラクターの用い方）

〔委員〕教科書で教えるか，教科書を教えるのか という議論もある。
どの教科書を選定する際に，その教科書を使ってどのような学習をするべきか，ということについても考えていきたい。

〔委員〕子どもに考えさせることが大切。キャラクターが，子どもが言うことを言い過ぎてしまうのはどうかと思う。

※調査会の評価どおり

◇道徳科の観点 5体験的な活動

〔委員〕体験ありきではいけないと思うが，△というほどではない。

※△の評価を○に修正

※ その他の観点については，調査会の評価どおりで確認

◇その他の意見

〔委員〕教科書の調査研究にはじめて関わり，道徳を通して子どもが何を学ぶのかということが分かりよかった。道徳科になるにあたり，先生方にもしっかり学んでいただきたい。

〔委員〕評価をどうするかということについても，大きな話題になっている。道徳に対する評価や学習の取組が進めば，生活の場面においても人を見る見方が変わっていくのではないか。

〔委員〕学校だけでなく，親も含め，大人も道徳性を高めていくことが大切であると思う。

〔委員〕どのような人と出会ったか，どのようなことを経験したかということが大切だと思う。様々な人と出会わせる中で，心をゆさぶるような道徳の授業を行っていきたい。

<一般図書について>

〔委員〕子ども達が，学習にとりかかりやすい内容になっているので，適切であると思う。

※調査会の評価どおり